



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	英語の動詞句における時間表現の指導の一環としての進行相と完了相の指導 : 1. 進行相指導の一つの試みー動詞のアスペクト特性の考察からー
Author(s)	仮谷, 卓
Citation	教授学の探究, 5, 14-41
Issue Date	1987-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/13540
Type	departmental bulletin paper
File Information	5_p14-41.pdf



1. 進行相指導の一つの試み

——動詞のアスペクト特性の考察から——

仮 谷 卓
(北大教育学部4年)

1. 1 既存プランの検討

検討することができた既存プラン¹⁾には、次のような弱点のすべてまたはいくつかが見られる。

- (1) 現在進行にしる、過去進行にしる、非進行との対立において捉えられていない。
- (2) 進行の本質的な意味が何であるかが端的に述べられていない。
- (3) 動詞のアスペクト特性による進行の意味の違いに言及がない。(例えば、'He was dying' (彼は死にかかっていた)では、'彼'はまだ死んではいない。それに対して、'He was studying' (彼は勉強していた)では、'彼'はすでにいくらかは勉強しているのである。同じ過去進行のこのような意味の違いは、動詞の持つアスペクト特性によるものである。)
- (4) 進行の本質的な意味を指導するにあたって、過去進行よりはむしろ現在進行から入るのがよいのかどうか、ほとんど検討されていない。

したがって、われわれが作成しなければならないのは、非進行との対立における進行の本質的な意味と、動詞のアスペクト特性による進行の意味の違いの両方を理解させるような進行相の指導プランである。

1. 2 進行相の理論的考察

進行と非進行は、進行相という文法的カテゴリーにおいて対立する2つの項である。'相'(aspect)は一般に、「項の間の第一義的な意味上の対立が、事態の『時間的内部構成』と呼ばれてきたものにかかわる文法的[カテゴリー]」を表すのに用いられる²⁾。例えば、'He drowned' と 'He was drowning' を比較してみよう。前者は、「指示されている事態[この場合、彼が溺れ死ぬこと]の総体を、その時間的内部構成に言及することなしに提示している。事態の全体が、単一の分析不可能な全体として、始まり、最中、終わりが1つに丸められて、提示されているのである。」他方、後者は、「事態の時間的内部構成に明示的に言及している。」この例では、特に、彼が溺れ死ぬことの最中の部分に言及がなされているが、その事態の「始まりや終わりには明示的な言及がない」³⁾。

Huddleston (1984) は、非進行との対立において、進行の本質的な意味を、0. 2. 3 で引用されたように述べている。この説は、非常に優れたものであるといえよう。ここでは、進行の本質的な意味を、次のように規定しておく。「進行形とは、『進行の助動詞 BE の屈折形式+動詞の-ing形』という形式であって、事態がすでに始まっていて、終わりに向かって進行しているが、まだ終わっていないということを意味する⁴⁾。これに対して、非進行は、事態の総体を、単一の分析不可能な全体として、その時間的内部構成に言及することなしに提示する。」

安藤(1983)によれば、「時制と相との記述に有意義である限りで、英語の動詞をアスペクト

れており、そして、[瞬時的] 動詞と [非瞬時的] 動詞が [完結的] 動詞の下位区分である、ということに注意されたい。

安藤 (1983) によれば、[非完結的] 動詞が進行をとると、<[一時的] 継続> を意味する。

The baby *is sleeping* now.

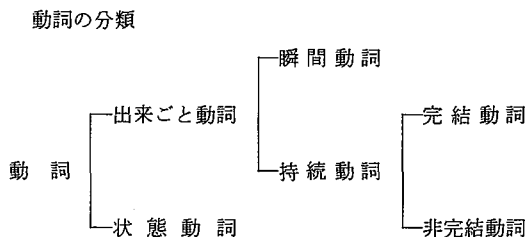
「[非瞬時的] とは、言葉を変えれば [過程的] ということである」から、[非瞬時的] 完結動詞が進行をとると、「『…しかけている』という <完結への接近> を [意味する]。」

The old man *was dying*.

[瞬時的] 動詞が進行をとって、継続の副詞的語句と共に起している場合には、「動作の……<反復>」を [意味する]。」⁶⁾

He *was kicking* the ball for an hour.

確かに、DIE という [非瞬時的] 完結動詞が表す事態には、‘死’ という「内在的な完結点」⁷⁾ があって、この動詞が進行をとると、‘死’ という <完結 [点] への接近> を意味する。しかし、KICK のような [瞬時的] 動詞を [完結的] 動詞の下位区分であると認定することには、無理がありはしまいか。われわれの考えでは、[非状態的] 動詞は、まず、‘瞬間動詞’ と ‘持続動詞’ に下位区分される。そして、‘持続動詞’ は、‘完結動詞’ と ‘非完結動詞’ に下位区分される。安藤 (1983) の [非瞬時的] 完結動詞、[非完結的] 動詞、[瞬時的] 動詞は、それぞれ、‘完結動詞’、‘非完結動詞’、‘瞬間動詞’ として、[状態的] 動詞、[非状態的] 動詞は、それぞれ、‘状態動詞’、‘出来ごと動詞’ として、われわれが想定している動詞の分類の中に組み込まれている。



1. 3 進行相の指導プランの構造

本プランは、アスペクト特性によって、動詞を分類し、それぞれの種類の動詞が進行をとった時に表す意味と、それらの意味を貫いている、進行の本質的な意味を理解させることを目標としている。

進行の本質的な意味は、非進行との対立において、明瞭に把握することができる。本プランでは、まず、過去進行と過去非進行を対比することによって、進行相の基本的な理解を得させたい。次に、現在進行と現在非進行の間の対立の中に、過去進行と過去非進行の対比から得られた進行相の理解が貫かれていることを確認させたい。ここで、なぜ、現在進行と現在非進行の対比というよりはむしろ過去進行と過去非進行の対比から入るのかといえ、進行と非進行の間の関係が、過去時制におけるよりも現在時制における方が、かなり複雑である⁸⁾ ために、現在時制においては、進行相の対立が、過去時制におけるよりも捉えづらいからである。

導入には、‘Katsuhiko drowned’ 対 ‘Katsuhiko was drowning’ という、完結動詞 DROWN

を主要要素とする過去非進行の動詞句と過去進行の動詞句の対比を用いる。なぜならば、完結動詞は、過去時制において、進行相の意味上の対立を最も如実に現す動詞である⁹⁾からである。

本プランの構成は、次のようになっている。

第1課 完結動詞の進行：‘*drowned*’と‘*was drowning*’が表す“状況”の違いを用いて導入する。

第2課 非完結動詞の進行：完結動詞と非完結動詞が進行をとった時に表す“状況”の違いを捉えさせる。

第3課 進行の本質的な意味：過去進行と過去非進行の対比、そして、現在進行と現在非進行の対比をとおして、進行の本質的な意味を探る。

第4課 瞬間動詞の進行：進行の本質的な意味をおさえた上で、瞬間動詞が進行をとった時に表す“状況”を考えさせる。

第5課 状態動詞と進行：状態動詞が進行をとるとすれば、どういう場合にとり得るのか、また、どういう“状況”を表すのかを考えさせる。

1. 4 授業書「進行形入門」

以下に紹介する授業書は、1986年11月4日から11月17日までの2週間にわたって、札幌市内の北星学園男子高等学校1年C組において、教育実習生仮谷卓によって、実験授業にかけられた。授業の時間数は8時間であった。

授業書「進行形入門」

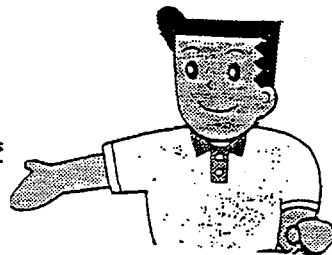
目 次

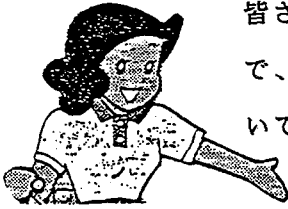
第1課	完結動詞の進行形	2
第2課	非完結動詞の進行形	7
第3課	進行形の本質的な意味	11
第4課	瞬間動詞の進行形	16
第5課	状態動詞について	20

0. はじめに 登場人物の自己紹介

いやー、皆さんこんにちわ！

僕の名前は、鈴木勝彦です。旭岳高校
の1年生で、陸上部です。趣味は、
囲碁で、悪友に秀一君がいます。





皆さん、始めまして、鈴木雅子です。旭岳中学3年で、スキー部で頑張っています。少しおっちょこちょいですがよろしくね。

皆さんこんにちは。私は、アメリカのポートランドからきた留学生です。名前は、ジェニーといます。勝彦君と同じ旭岳高校の1年生で、水泳が得意です。日本語はまだ下手ですが、よろしく。



ジェニーさんは、勝彦君のすぐ近くの旭岳高校の理科の先生をしている高村先生の家はこの夏からホームステイしています。勝彦君に言われて、雅子さんは、ジェニーさんを訪ね、海水浴に行く話を持ちかけます。さて、何が待ち受けているのでしょうか？

- 1 -

第1課

〔問題1〕

勝彦君、雅子さん、ジェニーさんは、今年の夏3人で海水浴に行きました。3人でボートにのり沖の方に漕ぎだしたまではよかったのですが、勝彦君は、はしゃぎ過ぎて、海に落ちこちてしまいました。さいわい、水泳の得意なジェニーがいたので、すぐに飛びこんで助けてくれました。

さて、その日の夕方ジェニーは、食事をしながら、海水浴で、勝彦君が溺れそうになったことを高村先生に話しています。ジェニーは、どの様に言ったのでしょうか。正しいと思うほうを選びなさい。また選んだ理由も書いて下さい。

(1) Katsuhiko drowned, but I jumped into the water and

saved him.

(2) Katsuhiko was drowning, but I jumped into the water and saved him.

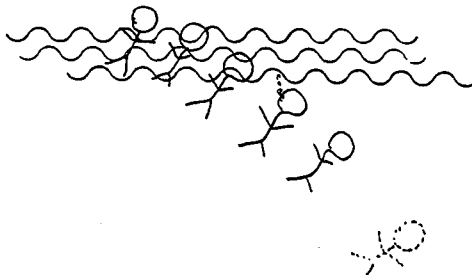
(DROWN=溺れ死ぬ)

{選んだ理由}

- 2 -

〔問題1の解説〕

(2)を選んだ人が正解です。はしゃぎ過ぎて海に落ちこちた勝彦君(実はかなずち)は、今にも溺れそうになりますが、ジェニーに助けられるわけです。(2)の進行形の文は、溺れそうになった様子を表わしていますが、勝彦君はまだ生きています。今にも溺れてしまいそうな様子をまるでテレビカメラで見ているかのようにとらえて表現しています。次の図をみて下さい。



- 19 -

これに対し、(1) の文は、「勝彦君は溺れ死んだ、しかし私が助けて上げた。」となり、意味的にも変な文です。ジェニーは水泳は得意ですが、決して、超能力者ではありません。死んでしまった人を助けることは出来ないのです。

(1) Katsuhiko drowned. は、「勝彦君は溺れ死んだ。」

(2) Katsuhiko was drowning. は、「勝彦君は溺れかかっていた。」
となります。

(1)の文では、勝彦君は、「死んだ」ことになってしまいます。(2)の文では、「まだ生きている」訳です。この違いに良く注意して下さい。

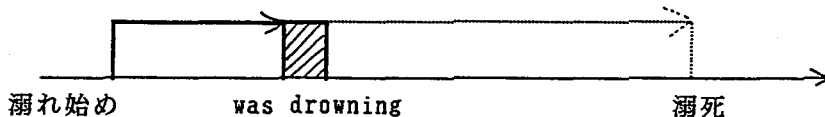
- 3 -


〔図示についての説明〕

このプランでは、進行形の表わす状況を理解する助けとして、図示を随所に使っていきます。いろいろな図示の方法がありますが、皆さんもこの図示に慣れてください。

例えば、問題1の例文で考えてみましょう。

(2) Katsuhiko was drowning.



BE drowning で示した  は、溺れはじめてから、溺死に至るまでの間であればどこでもよいわけですが、代表として、一つだけ書くことにします。また、図中、実線のところは、すでに実際に起こったことを意味し、点線のところは、まだ実際に起きていない部分を表わしています。横軸は時間の流れです。

- 4 -

〔問題2〕

、楽しかった夏休みもあっという間に過ぎてしまい、今日は、校内駅伝大会の日です。勝彦君は、今日こそはジェニーに良いところを見せようと張り切っています。

アンカーの勝彦君は、15キロ地点を過ぎたところで、いきなりスパートをかけ2番手以下を完全に、引き離し誰の目にも勝彦君のチームの優勝は間違いないように思われました。ところが、最後までわからないものです。ゴールまで後300メートルというところで、急に足がけいれんし、結局レースを棄権。優勝は二番手を走っていた秀一君のチームにさらわれました。

さて、勝彦君は、英文日記を毎日かいていますが、今日のマラソン大会の出来ごとは、どの様を書けば良いでしょうか。正しいと思う文を選んで下さい。

〔1〕 僕達は、ほとんど優勝間違いない状況だった。

- [a] We won* the race.
- [b] We were winning** the race.
- [c] We are winning the race.

〔2〕 秀一君のチームが、優勝した。

- [a] Shuichi's team was winning the race.
- [b] Shuichi's team won the race.
- [c] Shuichi's team is winning the race.

* 動詞WINの過去形

** 動詞WINのing形

〔進行形ってなんだろう その1〕

さて、次の文をよく見てください。

[1] Katsuhiko was drowning.

[2] Shuichi's team was winning the race.

[3] We were winning the race.

アンダーラインのところはいずれも、

was/were + 動詞のing形

という形をしています。これを過去進行形と言います。

また、これらの英文の表わす具体的な状況は、それぞれ次のようになります。

[1] Katsuhiko was drowning.

「勝彦君は、溺れかかっていた。」

が、まだ溺れ死んではいません

[2] We were winning the race.

「僕達は優勝しそうだった。」

が、まだ優勝してはいません。

つまりいずれの場合も、「溺れ死ぬ」、「優勝する」、という活動が既に始められていて、「溺死」、「優勝」という完結点に向かって進行している状況を表わしていますが、まだその完結点にはいたっていないのです。

第2課

〔問題3〕

正しいものを選んでください。またそれぞれを図示するとどうなりますか。

(1) Ritsu was dying of pneumonia. (pneumonia=肺炎)

この文から言えることは、

- (a) 律君は、肺炎で危く死ぬところだったが、助かった。
- (b) 律君は、肺炎で死んでしまった。
- (c) 律君は、肺炎で死にそうになったが、この文からは、律君が死んでしまったかどうかわからない。

図示

(2) Shuichi was drinking when Katsuhiko visited him last night. から言えることは、

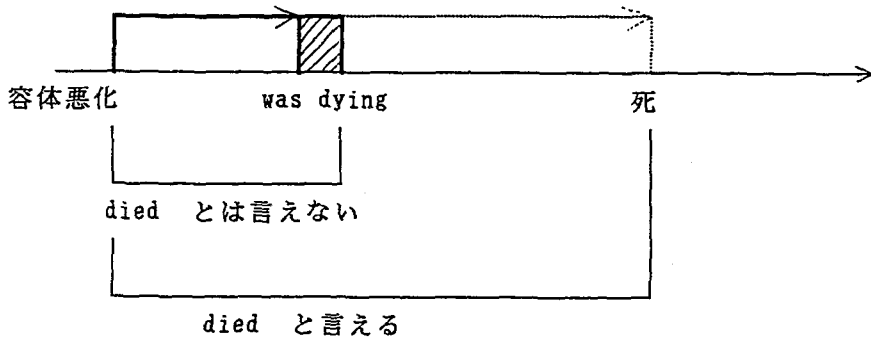
- (a) 秀一君は、昨晚勝彦君が秀一君の家に行ったときもう少しで酒を飲むところだったが結局飲まなかった。
- (b) 秀一君は、昨晚勝彦君が秀一君の家に行ったとき酒をのんでいた。
- (c) この文からは、秀一君が酒を飲んだかどうかわからない。

図示

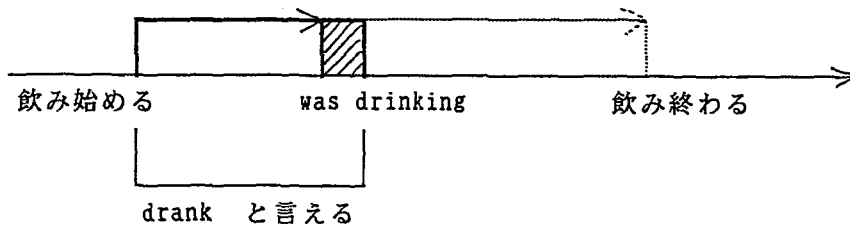
〔進行形ってなんだろう その2〕

次の二つの英文をよく見比べてください。

[1] Ritsu was dying of pneumonia.



[2] Shuichi was drinking when Katsuhiko visited him last night.



図で、実線の部分が、既に実際におきていることを意味しています。

[1] は、「律君は、肺炎で死にかかっていた。」という意味であり、その時点ではまだ死んではいません。

一方、[2] の方は、「勝彦君が、昨晚秀一君をたずねたとき、酒を飲んでいました。」という意味です。ですから、その時点ですでにいくらかは飲んでいるわけです。

DIE(死ぬ)という動詞が表わす事柄は、「死」という完結点をもって
います。そしてこれが進行形になると、その完結点に接近していく様子を
表わします。この様な動詞を〔完結動詞〕とよんでいます。

ところが、DRINK(飲む)の方は、動詞が表わす事柄に完結点はありません。
そして、これが進行形になると、その活動が続いていることを表わ
します。この様な動詞を完結点をもっていないことから、〔非完結動詞〕
とよびます。

{ここまで出てきた動詞の分類その1}

動詞

完結動詞 . . . DROWN, DIE, WIN,

非完結動詞 . . . DRINK,

- 9 -

〔問題4〕

次の英文の表わす状況が良く分かるように図示してください。また各
設問に答えてください。

[1] Shuichi was smoking in the classroom.

この文から、秀一君が、教室でタバコをすったと言えますか。

(言える、 言えない)

図示

[2] The UFO was landing on the moon.

この文から、UFOが、月に着陸したと言えますか。

(言える、 言えない)

図示

[3] Jenny was swimming in the river yesterday.

この文から、ジェニーが川で泳いだと言えますか。

(言える、 言えない)

図示

— 10 —

第3課

〔問題5〕

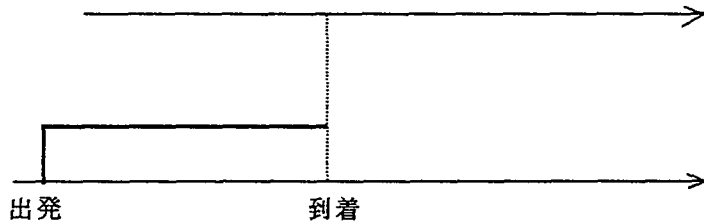
勝彦君は、雅子さんの宿題を手伝ってあげています。勝彦君にかわって教えてあげてください。

次の英文の違いに注意しながら、工夫して図示を完成させてください。

[1] Jenny was having lunch when I arrived.

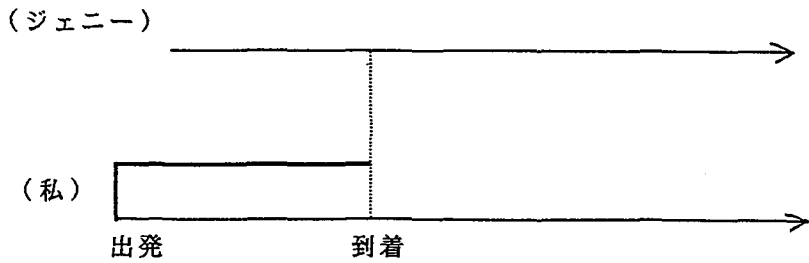
(ジェニー)

(私)



*HAVE LUNCH=昼食を食べる

[2] Jenny had lunch when I arrived.

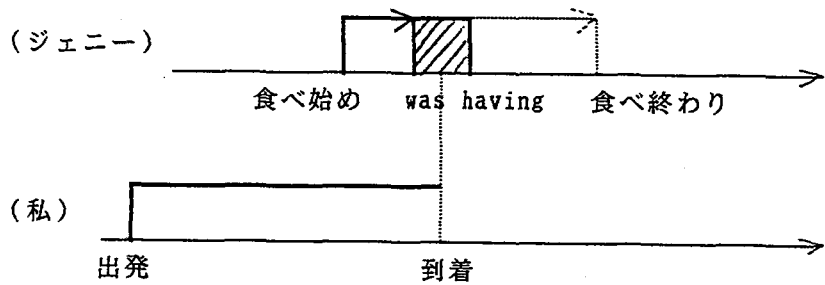


- 11 -

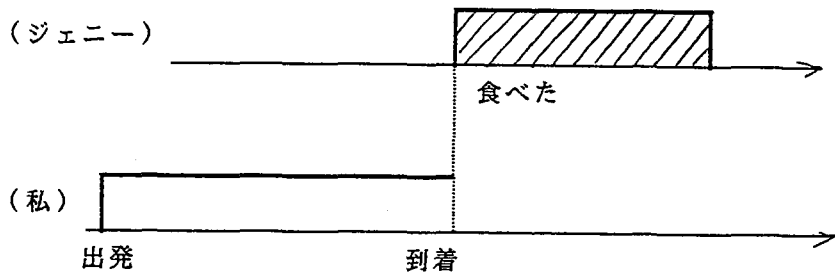
〔問題5の解説〕

まず次の図をみてください。

[1] Jenny was having lunch when I arrived.



[2] Jenny had lunch when I arrived.



- 27 -

[1]は、「私が到着したとき、ジェニーはちょうど昼食を食べている最中だった。」という意味になります。ところが、[2]は、「私が到着したとき、ジェニーは昼食を食べた。」となります。「昼食を食べた」という活動は全体としての出来ごととしてとらえていて、それ以上細かく活動の内部に立ち入っていません。完結動詞'DIE'についても、'was dying'と'died'のちがいにに関して上と同じことが言えます。

- 12 -

〔問題6〕

次の、ジェニーと勝彦君の会話を読んで、問題に答えてください。

勝彦 : それ何読んでるの。

ジェニー : ジャパントイムズよ。日本語の新聞はまだ読めないの。
ところで勝彦君は、いつもは何新聞を読んでいるの。

勝彦 : 普段は、道新を読んでいるんだ。一番読みやすいからね。

さて、アンダーラインの所を英語で表わすとどうなるでしょうか、より適切なほうを選んでください。

[1] ジャパントイムズよ。

I	[am reading]	'The Japan Times'.
	[read]	

[2] 道新を読んでいるんだ。

- 28 -

I	am reading read	'Hokkaido Shinbun'.
---	------------------------	---------------------

— 13 —

〔進行形ってなんだろう その3〕

これまでは、ずっと、過去進行形をあつかってきましたが、ここで初めて

'am reading' という、「am + 動詞のing形」が、できました。これは、現在進行形と呼ばれるものです。ですから、まとめると次のようになります。

was/were + 動詞のing形 . . . 過去進行形
am/is/are + 動詞のing形 . . . 現在進行形

進行形の文と、そうでない文との違いは、どこにあるのでしょうか。進行形で書かれた文、

[1] I am reading 'The Japan Times'.

は、いま、ジャパントイムズを読んでいる最中だという意味です。つまり、ジャパントイムズを読むという活動が、既に始まっていて、進行中である状況を表わしています。

これに対して、進行形でない文、

[2] I read 'Hokkaido Shinbun'.

は、どんな状況を表わしているのでしょうか。「いつも道新を読んでいるんだ」という場合、「道新を読む」という活動が全体としての出来ごととしてとらえられていて、それ以上細かく、分析されていません。次のページの図を見てください。

— 14 —

「いつも道新を読んでいる」という場合は、

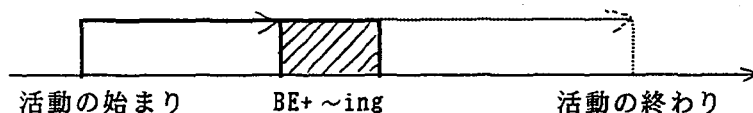
道新を読む 道新を読む 道新を読む 道新を読む 道新を読む

という様に、道新を読むというひとつひとつの出来ごとが、連続的にあって、それらが、いま習慣になっているという状況を表わしています。

さて、これまで述べてきたことから、進行形の本質的な意味は、次のように言うことができます。

{ 進行形の本質的な意味 }

進行形とは、「BEの変化形 + 動詞のing」の形であり、活動がすでに始まっていて、終わりに向かって進行しているが、まだ終わってはいないということを意味する。



— 15 —

第4課

[問題7]

この問題は、ジェニーからだされたものです。少し難しいと思いますが、頑張って考えてください。次に 二つの英文があります。この内のどちらかは、普段まず使われることはない、ということです。使われることのない文は、どちらでしょうか。また、どうしてそう考えたかも書いてください。

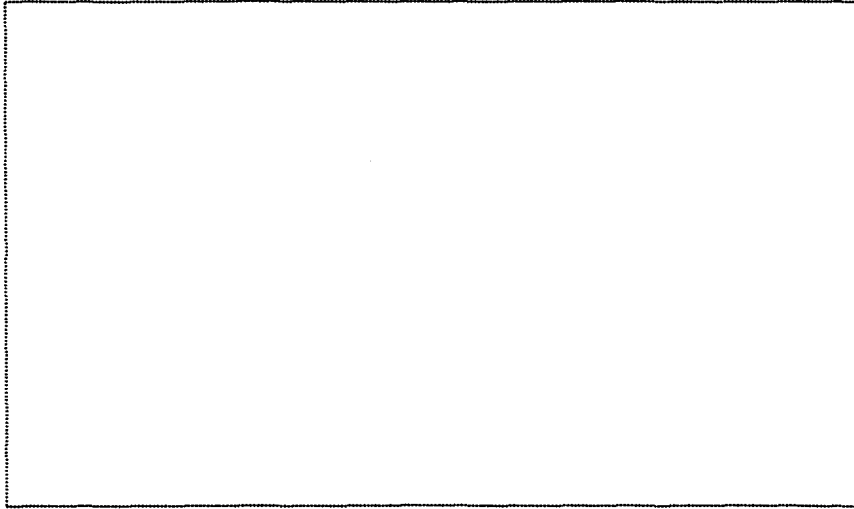
— 30 —

[1] The bomb is exploding.

[2] Bombs are exploding.

(EXPLODE=爆発する)

{選んだ理由}



— 16 —

〔問題7の解説〕

[1],[2]はいずれも現在進行形で書かれた文で、一見するとどちらも正しそうに見えます。

ここで、進行形の本質をもう一度思い出してください。「進行形は、活動が既に始まっていて、終わりに向かって進行しているが、まだ終わっていない、ということの意味する。」

爆発は、一瞬の内に終わってしまいます。ですから、あるひとつの爆弾が、爆発し始めて、爆発し終えるまでの過程を考えて、表現すると言うことは、現実的ではありません。

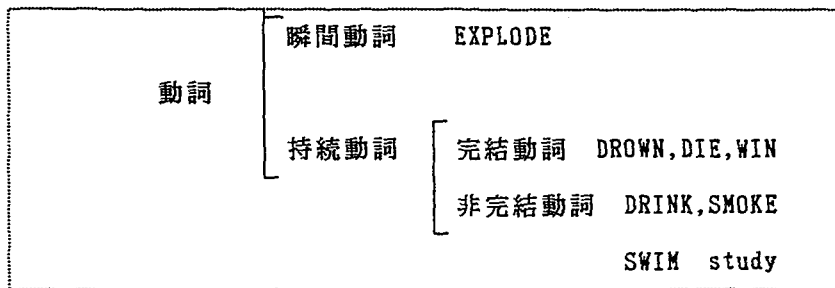
ところが、爆弾が、たくさんあって、それらが、順次爆発している様な場合ですと、最初の爆弾が爆発して、最後の爆弾が爆発するまでには、

— 31 —

ある一定の時間を要します。ですから、その間の様子を進行形で表わすことが出来るのです。以上の説明から、[1]の文が、間違っただ文だと言えます。

“EXPLODE”のように活動や、動作が、瞬時のうちに終わってしまうような動詞を瞬間動詞と言います。これに対して、第3課までにでてきた動詞のように活動や動作に、ある時間を要するような動詞を持続動詞と呼びます。

{ここまででてきた動詞の分類その2}



— 17 —

〔問題8〕

次の英文は、どういう状況を表わしているのか、記号で答えなさい。更に、図式化するとどの様になりますか。工夫してください。

〔1〕 Someone is knocking at the door.

[a] 誰かが、ドアをノックしようとしている状況。

[b] 誰かが、ドアをトントン、トントンとくり返しノックしている状況。

[c] 誰かが、ドアをいちどだけノックした状況。

〔図式化〕

〔 2 〕 Jenny was jumping for joy.

[a] ジェニーが、喜んで、これからジャンプしようとしている状況。

[b] ジェニーが喜びのあまり、空中に浮かんだ状況。

[c] ジェニーが、あまりのうれしさのために、何度も何度も飛びはねている状況。

〔 図式化 〕

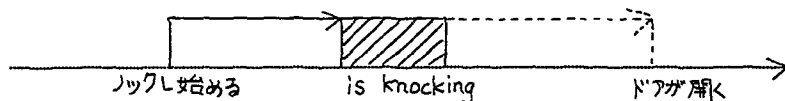
〔 問題 8 の解説 〕

〔 1 〕 の文は、ドアをノックするという動作が既に始まり、ドアが開けられるという動作の終わりに向かって、ノックしつづけられている様子を表わしています。ノックするという一連の連続的な動作と考えることが出来るでしょう。また、ノックの一回一回の動作に目を向ければ、動作の反復と見ることも出来るわけです。

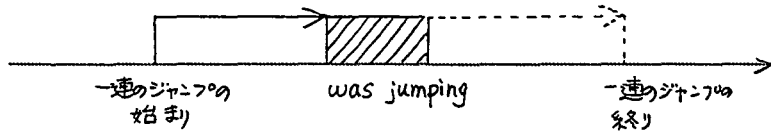
〔 2 〕 の場合も同じように、一回のジャンプは瞬時的に終わってしまうと考えられますが、これが進行形になると、何度も何度もジャンプするという一連の連続的な動作、反復的な動作を表わすのです。〔 1 〕 は b, 〔 2 〕 は c が正解。

図式化については、各自工夫してもらって結構ですが、解答例をあげておきます。

〔 1 〕



〔 2 〕



— 19 —

第 5 課

〔 問題 9 〕

次の問題は、勝彦君が三日三晩考え込んでいる問題です。皆さんの知恵をかしてあげてください。

より適切なほうを選び、選んだ理由を具体的に記してください。

[1] Shuichi

stands
is standing

 in front of the class room.

[2] The statue of Dr. Clark

stands
is standing

in Hokkaido University.

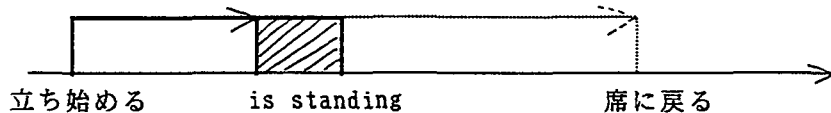
(statue=銅像)

{ 選んだ理由 }

— 20 —

〔問題9の解説〕

[1]の文は、例えば、秀一君が、宿題を忘れてきて、教室の前に立っているような状況を考えてください。教室の前に立たされるというのは、一時的に立たされるのであって、銅像のようにそこにずっと立っているわけではありません。次の図をみてください。

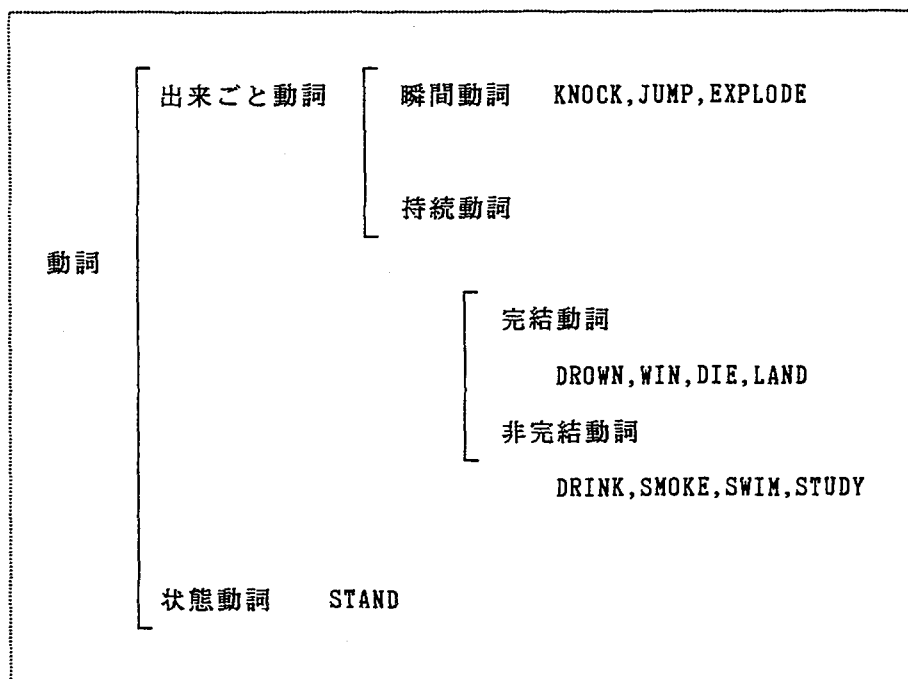


[2]は、「クラーク博士の像は、北海道大学にある」という意味です。この場合、「STAND」は、「ある、立っている」という状態を表わす動詞として使われています。いつその像が設置されて、いつまでそこにあるのかということは、問題にされていません。ですから、普通進行形にはなりません。もっとも、特別な例として、ある銅像が、一時的にどこかに置かれていて、そのうちに移動される予定になっている様な場合とか、撤去されることが、強く意識されている様な場合には、進行形をとります。

さて、一般にこの始めと終わりとははっきりしないかあるいは問題にされないような動詞を〔状態動詞〕と言います。そして、普通、状態動詞は進行形をとりません。しかし、ここでの例の様に、始めと終わりとははっきりと意識されるような場合は、進行形をとることがあり、その場合は、一時的な状態を表わします。

状態動詞に対して、第4課までであつかつてきた動詞すべてをひっくり返して、〔出来ごと動詞〕と呼びます。

{ここまででてきた動詞の分類まとめ}



— 22 —

〔問題10〕

次にあげた英文は、いずれも進行形で書かれています。その中に使われている動詞が、出来ごと動詞か、状態動詞かを判断し、〔 〕に記入してください。また、正しくない英文は、どれでしょうか、[]に×印しを書いてください。

[] (1) Katsuhiko is knowing Masako. []

[] (2) Shuichi is playing chess with Katsuhiko now. []

— 36 —

[] (3) Katsuhiko is having two sisters. []

[] (4) Masami is liking her very much. []

[] (5) You are becoming an authority on English. []

*an authority on~ = ~の大家

— 23 —

〔進行形ってなんだろう まとめ〕

ここでそれぞれの動詞が進行形をとった時、どういう状況を表わすかを整理しておきます。

{ A } 完結動詞 . . . 完結への接近を表わす。

(例) The bus is stopping.

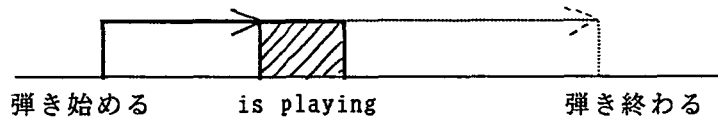


(表わす状況) . . . バスがスピードを落とし、今にも止まり
そうな状況であるが、まだ完全に停止してはいない。

{ B } 非完結動詞 . . . 活動の継続を表わす。

— 37 —

(例) He is playing the guitar now.

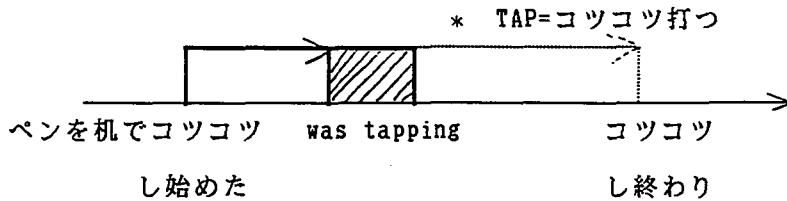


(表わす状況)・・・彼が、ギターを弾き始め、今弾いている
最中を表わす。

- 24 -

{ C } 瞬間動詞・・・動作の反復を表わす。

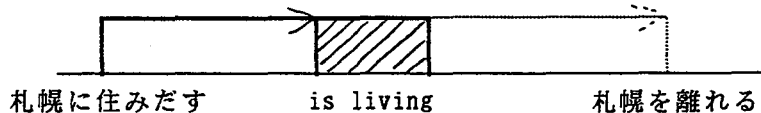
(例) He was tapping* his pen on the table.



(表わす状況)・・・ペンで机をたたきコツコツという音を出
し続けている様子を表わします。

{ D } 状態動詞・・・普通は進行形にならない。例外的に進行形をと
る場合がありそのときは、一時的な状態を表わ
す。

(例) She is living in Sapporo at the moment.



- 38 -

(表わす状況)・・・今のところ、一時的に札幌にすんでいる
という状況を表わす。例えば、大学の4年間だけは、
札幌に住むが、卒業すれば、東京に帰ることになって
いるような場合を考えると良いでしょう。

— 25 —

〔問題11〕

さて、君達の英語の力も進行形に関する限りでは、英米人に近づいて
きました。各英文に使われている動詞は、動詞の分類によると、何動詞に
なるかを〔 〕に書き、それぞれの英文を図示し、さらにその英文
が表わす状況がよく分かるように訳してください。

[1] The golfer was hitting the balls.

〔 〕動詞

図示

訳 〔 〕

[2] The witch was changing into a princess.

〔 〕動詞

図示

訳〔

〕

* WITCH=魔女

** CHANGE INTO=変わる

*** PRINCESS=王女

— 26 —

[3] Katsuhiko is eating his dinner* now.

〔

〕動詞

図示

訳〔

〕

* EAT ONE'S DINNER =食事をする

[4] Masako was opening the parcel*.

〔

〕動詞

図示

訳〔

〕

* parcel=小包み

J. G. D.

— 27 —

〈注〉

- 1) 伊藤健三ほか(編)『英語指導法ハンドブック1〈導入編〉』, 大修館書店, 1976年, pp.1132-1139, 1146-1153, および, 菅野富士雄「進行形の指導」, 日本教職員組合(編)『外国語の授業』, 一ツ橋書房, 1978年, pp.80-94.
- 2) Rodney Huddleston, *Introduction to the Grammar of English* (Cambridge: Cambridge University Press, 1984), p.157.
- 3) Bernard Comrie, *Aspect* (Cambridge: Cambridge University Press, 1976), pp.3-4.
- 4) 五島忠久・織田稔『英語科教育 基礎と臨床』, 研究社出版, 1977年, pp.54-55.
- 5) 安藤貞雄『英語教師の文法研究』, 大修館書店, 1983年, pp.63-65.
- 6) 安藤 (1983: 66-67).
- 7) Huddleston (1984: 153-154).
- 8) Huddleston (1984: 154-155) を参照されたい。
- 9) Geoffrey N. Leech, *Meaning and the English Verb* (London: Longman, 1971), p. 16.